

# 公益財団法人 東京都農林水産振興財団

Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries

## 事業案内

2020



育てます豊かな食とみどりの東京

# 公益財団法人 東京都農林水産振興財団について

## 設立の目的

当財団は、農林水産業の担い手や後継者の確保育成や農林水産業の振興、森林保全整備、緑化推進事業等を行い、都市と調和する農林水産業の振興、うるおいと活力ある都民生活の向上、感性豊かな次世代の育成に寄与することを目的に設立された公益財団法人です。

## 経営目標(2020年度)

- 1 農業の担い手育成と農家の経営基盤の強化
- 2 多摩地域の森林循環の促進と木材利用の拡大
- 3 先端技術を活用し東京の農林業・食品産業の収益性を高める試験研究の推進
- 4 高付加価値を生み出す畜産の振興と水産資源拡大への貢献
- 5 豊かな食と緑の情報発信と東京2020 オリンピック・パラリンピックへの対応
- 6 新規事業の着実な実施と事業成果の公表
- 7 農林水産行政を補完する東京都農林水産振興財団の主体的な力量とプレゼンスの向上

## 事業体系



当財団は、東京の農林水産業を支援する事業部門と農林業と食品産業の振興を支える試験研究部門から成り立っています。

## ごあいさつ

### (公財)東京都農林水産振興財団 理事長 影山 竹夫

東京の農林水産業を取り巻く状況がますます厳しさを増す中で、当財団では東京都との緊密な連携のもとで、2020年も積極的な事業展開を図ってまいります。

- ・新たに東京農業アカデミー八王子研修農場を開設し、新規就農希望者に農業技術等を体系的に付与し、都内での就農を促進
- ・生産緑地の2022年問題に対し、区市による生産緑地の買取りを支援し、農家の育成や福祉農園などの施設整備費用を支援
- ・多摩産材をはじめとした国産木材の魅力発信事業を推進し、さらに中・大規模建築物の木造木質化を進めるため、設計費の補助制度を創設
- ・農林総合研究センターにおいて、「スマート農業推進室」を設置し、東京型スマート農業を推進

今年は、旧農業試験場から数えて、120年の節目の年に当たります。また、青梅庁舎(旧畜産試験場)も創設100年を迎えます。これを機に農総研の試験研究体制の一層の充実を図ります。さらに財団の経営企画機能を拡充し、財団のプレゼンスの向上と経営の改善・改革に努めていきます。

引き続き関係者各位、都民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



### (公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター 所長 村上 ゆり子

東京の農林水産業や食品産業の振興を支えるため、東京型スマート農業等による高収益型生産管理技術、新品種・栽培技術・加工技術を活用した高い競争力を有する東京オリジナルブランド、SDGsに貢献する生産管理技術の開発等に取り組んでいます。

研究開発を効果的に進めるため、普及・行政部局、民間企業や研究開発法人、大学等との連携による、開発技術の速やかな実用化、新たな産業振興を先導する技術シーズ開発にも積極的に取り組んでいます。

皆様のご指導とご支援をよろしくお願いいたします。





## 概要

名称 公益財団法人東京都農林水産振興財団  
 所在地 東京都立川市富士見町三丁目8-1  
 評議員会 評議員13名  
 代表者 理事長 影山竹夫  
 役員 理事8名 監事2名  
 基本財産 1,187,480千円  
 事業規模 7,072,195千円  
 (令和2年4月1日現在)



## 沿革

平成 3(1991)年3月 (財)東京都農林水産後継者育成財団と(社)東京都野菜価格安定資金協会とを発展的に解消し、本財団を設立  
 平成 3(1991)年6月 農地保有合理化法人として指定される  
 平成 6(1994)年4月 東京都有機農業堆肥センター事業を開始  
 平成 8(1996)年4月 東京都青年農業者等育成センターに指定される  
 平成10(1998)年4月 (財)東京都森林整備公社と統合、東京都林業労働力確保支援センター、東京都緑化推進委員会として指定される  
 平成14(2002)年4月 栽培漁業センター事業が(財)東京都島しょ振興公社から移管、都行造林管理事業を都から受託  
 平成15(2003)年4月 東京都肉用子牛価格安定基金協会として指定される  
 平成16(2004)年4月 奥多摩さかな養殖センター事業を都から受託  
 平成17(2005)年4月 農業試験場、畜産試験場、林業試験場を統合し、東京都農林総合研究センターを設置、都から試験研究事業を受託  
 平成18(2006)年4月 東京都立食品技術センター事業を指定管理者として受託  
 平成22(2010)年4月 公益財団法人へ移行  
 平成25(2013)年4月 チャレンジ農業支援センターを開設  
 平成26(2014)年6月 多摩産材情報センターを開設  
 平成30(2018)年11月 肉用牛肥育経営安定交付金制度における積立金管理者に指定される  
 令和 2(2020)年4月 東京農業アカデミー八王子研修農場開設、スマート農業推進室開設

## 組織図



## これから農業をはじめの方へ

これから就農する農家の後継者や、新規就農を希望する農家以外の方への就農相談窓口を開設しています。また、東京農業アカデミー八王子研修農場では、農外からの新規就農を目指す方に2年間の研修を行っています。



就農相談

## 新規就農者や農業後継者への支援

新規就農者に対する技術習得を目的としたセミナーを支援し、地域のリーダーを担う農業者を育成するセミナーを東京都と共催しています。

また、農林水産業の担い手を中心とする団体が地域の課題を自主的に解決する取組や講習会の開催にかかる活動費などを助成するとともに、その取組の成果を発表しています。



担い手団体による講習会

## 都民とのふれあい

都民の皆さんに東京の農林水産業への理解を深めてもらうため、様々なイベントで東京産の農畜産物をPRするほか、食と農の各種体験教室を実施しています。



多摩・島しょ特産品フェア

## 援農ボランティアの養成と活動支援

区市町村と協力して、農業に関心を持つ方々を対象に農作業の実習や講義を実施し、農業の担い手不足を補う援農ボランティアの養成を行っています。また、地域の枠を超えて活動する広域型の援農ボランティアの育成支援や登録・派遣を行っています。



広域援農ボランティア

## 都市農地を保全する

東京都から生産緑地活用計画の認定を受けた地区を対象として、区市が生産緑地の買取りや活用を行った場合に、その経費の一部を補助しています。

## 農業経営を支える

都内で生産されたキャベツや島しょ地域特産のアシタバなど、市場出荷作物の価格安定を図るとともに、肉用子牛の生産や肥育経営を支援しています。



黒毛和牛の親子

## 新しい農業経営へのチャレンジを応援

(チャレンジ農業支援センター)

東京の強みを活かした魅力ある農業経営の展開を図るため、経営改善にチャレンジする意欲ある農業者等に対して、専門家を派遣してアドバイスを行うほか、販売促進・商品開発等新たな取組に必要な経費の一部を助成しています。



チャレンジ支援事業で作成した成果品

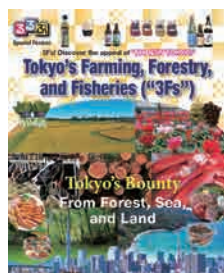
# 食と緑の情報発信とGAP認証の推進

地産地消・オリンピック・パラリンピック  
関連事業推進課

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、都内産農林水産物をPRするための情報発信や、農林水産物の認証に関する取組を支援しています。

## 無料情報誌の発行

「るるぶ特別編 東京の農林水産」(日本語版、7言語の外国語版)を発行し、東京の農林水産業に関する情報を提供しています。



## 農林水産ウェブサイトの運営

東京の農林水産総合ウェブサイト「東京の恵み TOKYO GROWN」を通じて、国内外からの旅行者や都民に向けて、東京の農林水産業や新鮮で安全・安心な都内産農林水産物の魅力を広く発信しています。

## 東京都GAP推進事業

食品安全や環境に配慮した持続的な農業生産を推進し、東京2020大会への農産物提供を可能にする東京都独自の「東京都GAP認証制度」について、申請者の取組状況の調査、認証取得者向けの研修等を実施しています。





# 森林の整備・保全と多摩産材の利用拡大

森の事業課

東京の森林の保全と木を感じる暮らしを実現するため、森を整備し、活かす取組を進めています。

## 森林整備

### 都民との協働による森づくり

都民や自治体、企業等の協力を得て、森林所有者と協定を結んで森林整備を行っています。

- 二俣尾・武蔵野市民の森 ●奥多摩・武蔵野の森
- 奥多摩・昭島市民の森 ●航空電子グループの森

### とうきょう林業サポート隊

東京の森林を整備するボランティアを募集し、伐採跡地等において、植栽、下刈、枝打ち等の活動を行っています(毎週水・土曜日、定員12名)。



とうきょう林業サポート隊



都行造林

### 分収林事業

森林所有者と契約を結んで、約300haの森林整備を行っています。

### 都行造林

東京都から多摩地域の約800haの森林を受託し、その管理を行っています。

## 森で働く人への支援

(林業労働力確保支援センター)

東京都から指定を受け、林業技術者の育成研修や林業事業体の確保・体制整備に取り組むとともに、労働安全向上や雇用改善への支援を行っています。

## 都民と森林とのふれあい促進

都民が森林に親しみ、都民に森林の役割を理解してもらうため、森林浴登山や森林ふれあい教室などのイベントを開催しています。



森林ふれあい教室

## 多摩産材の利用拡大

### にぎわい施設で目立つ多摩産材推進事業

より多くの都民に対して多摩産材をPRするため、駅や大規模商業施設等の不特定多数の都民が訪れる一定規模以上の施設において、民間事業者が壁や床の木質化、什器などに多摩産材を活用した場合に、その経費を補助しています。

### 木の街並み創出事業

多摩産材等の普及と需要拡大を図るため、民間施設(オフィスビルや商業施設等)において、都民の目に触れ接することができる建築物の外壁や外構に国産木材(うち多摩産材を3割以上)を使用する場合に、その経費を補助しています。

### 中・大規模建築物の木造木質化設計支援事業

中・大規模の木造木質化建築物の建築を促進するため、民間建築物(オフィスビルや商業施設等)の木造・木質化の設計において、多摩産材をはじめとする国産木材を一定量活用する場合に、その設計費を補助しています。

### 共存共栄による国産木材の魅力発信事業

民間企業等を対象としたオフィス空間の木質化や、建築物の木造化をPRする拠点を整備して、多摩産材等の木材製品の展示や普及啓発を行い、国産木材の利用を推進します。



多摩産材情報センター  
Tamazawa Information Center



多摩産材利用拡大フェア



神田明神 文化交流館

## 花粉対策事業

花粉対策室・花粉の少ない森づくり運動

花粉飛散量を削減するとともに、多摩産材の安定供給を図っています。

## 花粉の少ない森へ

### 森林循環促進事業(主伐事業)

花粉を多く発生するスギ・ヒノキ林を伐採し、花粉の少ないスギなどを植栽することで、花粉の少ない森づくりを進めるとともに、多摩産材の安定供給、東京の林業の活性化を図っています。

また、環境に配慮した持続可能な森林経営を実施するため、国際森林認証を取得しています。具体的には、財団が管理する森林について一般社団法人緑の循環認証会議(SGEC)によるFM認証を、貯木場についてCoC認証を取得し、毎年第三者機関による審査を受け、認証を維持しています。



檜原村榎里の主伐地

## 都民・企業等と進める花粉の少ない森づくり

都民・企業・団体からの支援により、「花粉の少ない森づくり募金」「企業の森」「森づくり支援倶楽部」の3つを事業の柱として「花粉の少ない森づくり運動」を展開しています。この「花粉の少ない森づくり運動」をPRするため、都内各地で木工体験や植樹イベントを実施しています。



植樹イベント





# 畜産振興と水産資源拡大

事業課

東京の農林水産資源の安定供給を通じて、地域の生産現場と暮らしを支え、東京の畜産・水産業の振興に貢献しています。

## 青梅畜産センター

青梅畜産センターは、東京ブランド畜産物である「トウキョウX」、「東京しゃも」及び「東京うこっけい」の系統を維持し、種畜やひなを生産者に配付する事業を行っています。なかでも、系統豚「トウキョウX」の知名度は非常に高く、その肉は「TOKYO X」のブランド名で販売され、都内有名百貨店などで好評を得ています。また、畜産物の生産・消費拡大のための農家支援や、家畜への理解を深めるためのふれあい活動等を行っています。



トウキョウX(エックス)

## 有機農業堆肥センター

有機農業堆肥センターは、環境と調和した環境保全型農業を推進するため、「土作り」に不可欠な優良堆肥を生産するモデルプラントとして設置されました。家畜ふんと剪定枝チップを混合した完熟堆肥を、生産者および一般都民の皆様に販売しています。また、令和元年度からは、東京都工コ農産物認証生産者に対する優先販売枠を設けています。完成した堆肥は、定期的成分分析を行うほか、堆肥中の残留農薬に関する試験を実施し、品質確保を図っています。



横型ロータリー式発酵層

## 栽培漁業センター

栽培漁業センターは、栽培漁業(人工的に生産した卵や稚魚を自然界に放流し、成長後に獲る漁業)の中核基地としてサザエ・アワビなどの種苗(稚貝)の生産・配付を行っています。島しょ域における水産資源の維持増大を図り、地域の基幹産業である漁業の発展と都民に新鮮な魚介類を安定的に提供することを目指しています。また、種苗生産の技術改良に関する試験研究などにも取り組んでいます。



アワビの選別作業

## 奥多摩さかな養殖センター

奥多摩さかな養殖センターでは、ニジマス・ヤマメ・奥多摩やまめ・イワナを養殖し、種苗(卵や稚魚)を生産して、河川漁協や養殖業者に配付しています。配付された種苗は河川に放流されるほか、養殖業者で大きく育てられて民宿や飲食店などで提供されています。当センターでは、入川飼育池と海沢飼育池の2か所で、稚魚の飼育と配付、親魚の養成と採卵を分担して行っています。



奥多摩やまめ

# 緑の募金・緑化推進

森の事業課・農業振興課

## 緑の募金

東京都内において「緑の募金」活動を行い、区市町村・ボランティア団体・学校等と連携し、募金活動による森林整備や都市緑化、森と緑に関するイベント出展等により緑化活動の普及を推進しています。



緑化イベント出展



森林整備活動



花壇の整備

## 街の緑を育てる

東京を緑豊かな都市とするため、市街化区域内の農地で緑化用苗木を生産しています。これらの苗木を公共用の植栽のために東京都や区市町村に供給しているほか、イベント等で都民配布しています。



ツツジ



ガクアジサイ





東京における農林業から食品産業まで幅広い分野を担う公的試験研究機関として、行政・普及機関等と密接に連携しつつ、近年の社会環境の変化と都民の幅広いニーズに対応した試験研究・技術支援業務に取り組んでいます。

## 研究企画室〈立川庁舎〉

農林総合研究センターの総合企画・管理運営を担い、産学公連携による分野横断的共同研究の推進や外部資金の獲得、都民や事業者に向けた研究成果の積極的公表などの業務を行っています。



研究成果発表会

## スマート農業推進室(令和2年4月開設)〈立川庁舎〉

スマート農業分野を担い、企業や大学等と研究開発プラットフォームを形成し、AI・IoT等の先端技術を活用した、小規模経営でも高収益を実現する技術の開発に取り組んでいます。



東京フューチャーアグリシステム  
(ICTを活用した東京型統合環境制御生産システム)

## 園芸技術科〈立川庁舎〉

野菜、果樹、花き、バイオテクノロジー等の園芸分野を担い、高品質・高付加価値な東京オリジナル品種の育成や、生産性や品質向上に向けた技術の開発などに取り組んでいます。



露地栽培用イチゴの新品種「東京おひさまベリー」  
(平成31年3月19日 品種登録)

## 生産環境科〈立川庁舎〉

農作物の生産環境分野を担い、農産物の安全性確保技術や病害虫総合管理技術(IPM)、環境負荷の少ない土壌総合管理技術、農作物の生産環境制御技術の開発などに取り組んでいます。



島しょ地域で問題となっている  
アシタバモザイクウイルス病

## 畜産技術科〈青梅庁舎〉

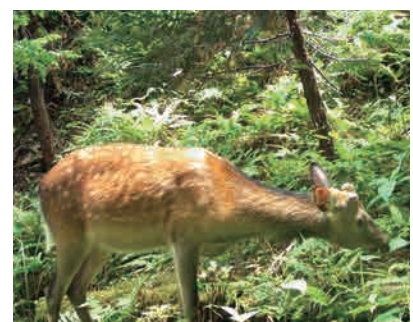
牛、豚、鶏等の畜産分野を担い、高品質で安全な東京ブランド畜産物の開発や維持改良、畜産の生産性向上技術、都市環境を取り巻く環境問題解決のための技術、有機質資源の管理と利用技術の開発などに取り組んでいます。



体外受精卵の非外科的移植技術により生まれた  
トウキョウXの子豚

## 緑化森林科〈立川庁舎〉

緑化及び森林分野を担い、様々な都市空間における緑化技術、東京を彩る樹種の選定と生産技術、森林産業の育成や豊かな森づくりに向けた技術の開発などに取り組んでいます。



ニホンジカなど野生生物による  
森林の被害実態の解明

## 江戸川分場

東京の東部地域における園芸分野を担い、高度集約型園芸技術の開発や、特産園芸作物における生産性・商品性の向上のための技術開発と品種の選定・導入などに取り組んでいます。



東京都東部地域の主力品目コマツナの美味しさに  
関わるアミノ酸の含量・組成の解明

## 食品技術センター〈東京都産業労働局 秋葉原庁舎内〉

食品分野を担い、食の安全性確保技術と機能性の解明・開発や、地域の資源を活用した食品開発などに取り組んでいます。また、食品事業者に対して、各種の技術相談、依頼試験、技術者研修会、開放試験室の運営などの技術的支援を行っています。



島しょ産海藻を活用した水産物製品の開発



## 事業所一覧

<h3>立川庁舎</h3>  <p><b>042-528-0505</b> 〒190-0013立川市富士見町3-8-1 アクセス JR青梅線「立川」駅南口徒歩7分 JR中央線「立川」駅南口より西武バス立川駅北口行き10分「農業試験場前」下車すぐ</p>	<h3>青梅庁舎</h3>  <p><b>0428-31-2171</b> 〒198-0024青梅市新町6-7-1 アクセス JR青梅線「小作」駅東口徒歩25分 西東京バス三ツ原循環西廻りて10分「平松北」下車徒歩3分</p>	<h3>東京都青梅合同庁舎</h3>  <p><b>0428-20-8134</b> 〒198-0036 青梅市河辺町6-4-1 アクセス JR青梅線「河辺」駅南口徒歩10分</p>	<h3>農林総合研究センター 江戸川分場</h3>  <p><b>03-3679-1458</b> 〒133-0073 江戸川区鹿骨1-15-22 アクセス JR総武線「新小岩」駅南口より京成バス(2番)江戸川スポーツランドまたは瑞江行きで15分「農業試験場」下車徒歩5分</p>
---	--	---	---

### ● 東京農業アカデミー八王子研修農場

〒192-0034 八王子市大谷町1013 ..... **042-649-3444**

### ● 栽培漁業センター

〒100-0101 大島町元町字和泉 99-5 ..... **04992-2-3461**

### ● 奥多摩さかな養殖センター

[入川飼育池] 〒198-0105 奥多摩町小丹波 720 ..... **0428-85-2028**  
[海沢飼育池] 〒198-0213 奥多摩町海沢 53 ..... **0428-83-2149**

### ● 東京都立食品技術センター

〒101-0025 千代田区神田佐久間町 1-9 ..... **03-5256-9251**

## 事業公式サイト

 <p><b>TOKYO GROWN</b> <a href="https://tokyogrown.jp">https://tokyogrown.jp</a></p>	<p>体験レポートや特集記事など、東京の農林水産業の現在をタイムリーに発信します。東京産食材が食べられるお店、楽しめるスポットなど、東京の食や自然の魅力をお伝えします。</p> 	 <p><b>FORESTRY SUPPORT</b></p>	<p><b>とうきょう林業サポート隊</b> <a href="https://ringyou-support.tokyo">https://ringyou-support.tokyo</a></p> <p>ボランティアとして、多摩地域の森林で植栽や下刈り等の森林作業をすることで森づくりをサポートしよう!活動の様子や参加申込みはこちらからご覧ください。</p> 
 <p><b>花粉の少ない森づくり運動</b> <a href="https://moridukuri.tokyo">https://moridukuri.tokyo</a></p>	<p>「花粉の少ない森づくり運動」に関する詳しい情報や各種イベント情報、企業の森での活動の様子などを随時更新しています。</p> 	 <p><b>とうきょう 援農 ボランティア</b></p>	<p><b>とうきょう援農ボランティア</b> <a href="https://agrivolunteer-tokyo.jp">https://agrivolunteer-tokyo.jp</a></p> <p>援農ボランティアに参加しよう!東京都内で参加できる援農ボランティアの最新情報をお届けします。</p> 

## 農林水産業関係行政機関一覧

名称	住所	電話番号
東京都産業労働局農林水産部	〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 都庁第一本庁舎21階	03-5320-4813
農業振興事務所	〒190-0022 立川市錦町3-12-11	042-548-4861
中央農業改良普及センター	〒187-0002 小平市花小金井1-6-20 (東京都小平合同庁舎)	042-465-9882
西多摩農業改良普及センター	〒198-0024 青梅市新町6-7-1	0428-31-2374
南多摩農業改良普及センター	〒192-0364 八王子市南大沢2-2 パオレビル6階	042-674-5971
森林事務所	〒198-0036 青梅市河辺町6-4-1 (東京都青梅合同庁舎)	0428-22-4183
島しょ農林水産総合センター	〒105-0022 港区海岸2-7-104	03-3454-1951
家畜保健衛生所	〒190-0182 西多摩郡日の出町大字平井2759	042-588-7171
病害虫防除所	〒190-0013 立川市富士見町3-8-1	042-525-8236

